

## 第5回群馬県世界遺産専門委員会 議事録（概要）

日 時：平成30年8月6日（月）14：30～17：30

場 所：群馬県庁29階第1特別会議室

1. 開会
2. 挨拶 入内島企画部長
3. 議事

### （1）報告事項

- ・包括的保存管理計画の改定について  
事務局から現在進めている包括的保存管理計画の改定作業について説明を行った。次回の委員会において内容を協議する。
- ・「富岡製糸場と絹産業遺産群」の各構成資産の現状について  
富岡製糸場、田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴の現状について、各市町の担当者が報告を行った。

### （2）協議事項

- ・世界遺産センターの整備について  
事務局から世界遺産センターの設置趣旨、展示内容等の説明を行った。また、富岡市より世界遺産センターの建物の改修工事について説明を行い、改修方法について了承された。
- ・平成29年度モニタリング調査について  
事務局から平成29年度のモニタリング調査結果について報告を行い、構成資産の保存管理について平成29年度は特段の問題がないことが確認された。

### 【委員等からの主な発言】

#### （1）報告事項 包括的保存管理計画の改定について

##### ①文化財保護法の改正と包括的保存管理計画等の関係について

- ・平成31年4月に改正される文化財保護法において、市町村が策定する全体としての地域計画と、世界遺産各構成資産の位置づけ、管理計画とが調和の取れたものであるのはもちろんのこと、互いのシナジーを出して欲しい。包括的保存管理計画も文化財保護法の改正を意識して改定すること。
- ・行政のまちづくりの一つとして文化財の保存活用が求められる時代になっている。各市町の総合計画、環境計画、景観計画などの諸計画と、今後策定する地域計画ではしっかりと摺り合わせを行うこと。

##### ②文化財保護法の改正に伴う群馬の絹産業遺産の保存活用について

- ・文化財保護法の改正で群馬県の文化財保護の在り方を改めて考えるなら、世界遺産には載せられなかったが、座繰製糸など群馬の近代や近代蚕糸業として重要な

遺産も位置づけ直すことを考えること。

③包括的保存管理計画の事業進行管理、評価について

- ・包括的保存管理計画で、期間が過ぎた短期計画については実施された部分と実施できなかった部分を振り返りまとめておくこと。
- ・短期、中期、長期計画について、誰が、いつまでに、何をするのか、ロードマップの作成を検討すること。

(1) 報告事項 「富岡製糸場と絹産業遺産群」の各構成資産の現状について

①各構成資産の事業内容について

- ・報告のなかった清掃、草刈り等の日常管理についても資料を提示すること。事業計画との関係、モニタリングにも関わり、委員の理解が深まる。
- ・下仁田町が計画しているバイオトイレについて、バイオトイレで成功していない事例もあるので、容量など他事例（多々良沼公園等）について検討すること。
- ・富岡市の南面崩落対策事業について、景観に配慮した工法を検討すること。
- ・各資産の保存修理工事などは先駆的なことをやっているの、今後他の参考事例としていけるようにすること。

②各構成資産（世界遺産センター展示含む）における展示について

- ・この世界遺産は欧州技術の移転と、その日本での定着、イノベーション、そして世界への逆輸出といったことを強調した遺産なので、それを展示でどう見せていくのか、150年の歴史をそれぞれのテーマ（乾燥機、寄宿舎制度など）についてわかるような説明の工夫をし、歴史の中で位置づけること。
- ・各遺産でも比較できる遺構が出てきている（乾燥場など）。各資産の遺構をとおした時代層の比較などの視点も大事にすること。

③包括的保存管理計画と実施事業の整合性について

- ・包括的保存管理計画（緩衝地帯を含む）と各資産の整備計画との整合性について留意して計画を策定し、事業を行うこと。

④議論内容について

- ・個別の事業だけではなく、中長期の4資産総体でのあるべき姿、ビジョンを見据えた議論をする委員会としたい。

(2) 協議事項 世界遺産センターの整備について

①世界遺産センターの運営、体制について

- ・世界遺産センターのような施設では調査研究機能が大事なので必要な人員と体制の確保をお願いしたい。
- ・事業費や、維持経費などを含め館運営のスケジュール等の資料も提示すること。

②世界遺産センターの展示について

- ・4つの資産それぞれについては分かるが、4つの資産の関わりはよくわからないというのが残ってしまう。養蚕部門の大事さをよく認識し、専門家を入れて展示

内容等を検討すること。4つの資産を繋げる視点として蚕種が重要なので展示で検討すること。

- ・機械が実際に動いているのが感激する。センターで展示ができないなら、碓氷製糸や岡谷蚕糸博物館などへの誘導の工夫を行うこと。
  - ・富岡市が再来年度より整備に着手する世界遺産センターの隣にある乾燥場では、センターの展示とリンクさせた座繰製糸などの展示も検討し、群馬県の養蚕製糸全体を見せる工夫をお願いしたい。
- ③世界遺産センター（富岡倉庫）の耐震補強等工事について
- ・世界遺産センターの耐震補強方法については、一部煉瓦を除去するが必要最小限に留める努力をしており、十分とはいえないが良とし委員会として了承する。

④その他

- ・世界遺産センターでは観光の分野の手法を取り入れて、来訪者の同行把握などの実施も検討すること。
- ・情報提供ではQRコードの活用なども検討すること。サインやピクトグラム、言語も十分検討すること。
- ・バリアフリーはじめ、目や耳が不自由な方への対応も十分検討すること。
- ・冊子等は買うべき価値のあるものを用意すること。

(2) 協議事項 平成29年度モニタリング調査について

①平成29年度の課題への対応について

- ・田島弥平旧宅周辺の養蚕農家群の保全について努力を行って欲しい。
- ・来訪者増加対策として、各資産で新しい客層の獲得に向けた世界遺産の価値の周知に限らない事業や取り組みを行っていくことを検討して欲しい。

②モニタリングの評価について

- ・モニタリングの結果について、データだけでなく事務局で評価した資料を用意し、委員会を議論の場とすること。
- ・モニタリングシートについて、群馬県の公園の指定管理制度のものも参考とすること。

(以上)